



レイジェンド滋賀FC

【チーム紹介】

全員守備、全員攻撃、全員スターを目指して、トップ選手もスタッフも一丸となってJリーグ入りを目指しています。攻撃に重点を置いてピッチを駆け回り、市民や子どもたちの目を釘付けにしたいです。

トップ選手の平均身長や技術ベースは昨年より高くなっています。



「びわ湖」と「伝説」を合わせたエンブレムにふさわしい、見ごたえのある試合をしたいです。

守山勢の直接対決

レイジェンド滋賀FC VS 守山侍2000

5月29日(日)

午後2時 キックオフ

8月28日(日)

会場：野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」

サッカーの関西アマチュアリーグが、社会人クラブチーム「守山侍2000」がグ8チームのうち、守山ゆかりの「レイジェンド滋賀FC」と「守山侍2000」の2チームが野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」で直

4月に開幕しました。

今期、関西1部リーグに昇格しました。関西トップリーグ「レイジェンド滋賀FC」と「守山侍2000」の2チームが野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」で直接対決する、守山ダービーが実現します。



守山侍2000

【チーム紹介】

関西1部リーグに昇格したばかりの、勢いあるチームです。地元守山にこだわって、開幕前に勝部神社で必勝祈願をしました。

サッカーを本気でやれば、それは「戦」です。個々の能力が高いので、挑戦者らしく、サムライらしく、攻撃的なサッカーをしたい。試合、見に来てください。



サッカーを本気でやれば、それは「戦」です。個々の能力が高いので、挑戦者らしく、サムライらしく、攻撃的なサッカーをしたい。試合、見に来てください。

サッカー王国 復活へ
いま、守山の
アマチュアリーグが熱い

人としての成長が将来への鍵 「ただいま」の声が一番の喜び

守山市サッカー協会
川端 和行 事務局長
すきたつ 長次 副会長
藤井 栄市 副会長



市サッカー協会の役員が、ボール蹴りに夢中な小学生だった頃、「サッカー王国」といわれるほど守山のサッカーは強く、全国大会でベスト4にまで勝ち進んだ守山高校は憧れでした。歳月がたち、指導者となりましたが、私たちは今でもサッカーが大好きです。子どもたちは日頃から試合が好きで、勝負なら「勝ちたい」という気持ちで努力しています。

市内各チームでサッカーを楽しんでいる子どもたちが成長してもサッカーを好きでいてくれたら最高ですが、例えサッカーでなくてもスポーツに親しんでほしいという願いがあります。サッカーの試合で勝つことや技術の向上も大切ですが、将来どんな道を選んでも通用できるように、「人間として成長してほしい。自分で決めたことを諦めずにやり抜ける人間になってほしい」と考えて指導しています。

私たちの指導した子どもたちが、Jリーガーのような有名な選手になってくれるのもうれしいですが、それ以上に「こんにちは」「ただいま」と帰ってきてくれることが、指導者として無上の喜びです。



滋賀に、守山に「J」を作る ゼロから夢を追いかけて

滋賀県3部リーグ
ヴィアベンテン滋賀
村田 和哉 代表

もーりー守山ふるさと大使で、平成23年から令和3年までJリーガーとして活躍した村田 和哉さんが率いる「ヴィアベンテン滋賀」は、「滋賀県にJリーグを！」と夢を掲げて、今季から滋賀県3部リーグに参戦します。

地域の少年サッカークラブでサッカーをしていた子ども時代、村田さんは「プロサッカー選手は夢物語」と思っていたようですが、平成12年に守山市制30周年記念のイベントで井原 正巳さん(元Jリーガー・元日本代表主将)と出会ったことが「夢はかなうんだ」と思わせてくれた原点だそうです。

現役を引退し、ふるさと守山に帰郷したばかりでチーム名も決まっていない状態でのスタートに、不安な気持ちもあったといいます。しかし、現役の頃から市内外の子どものために「夢はかなう」と教えてきたこともあって、壮大な夢を公言して立ち向かう背中を見てほしいと考えています。

全国のプロチームを渡り歩いた経験から、Jリーグクラブがまちのシンボルとなって夢や希望、元気を与える存在になっていることを学びました。愛する滋賀県にも、いつかそのようなクラブが誕生することを夢見ています。

まず目指すのは、滋賀県3部リーグ優勝。滋賀を、守山をサッカーで盛り上げたい。たくさんの人々に愛されるクラブとなり、市民の皆さまと一緒に夢をかなえていきたいと思っています。



サッカーの根っこは地域 ボールがあれば皆が仲間

滋賀県1部リーグ
河西FC
川島 忠浩 監督兼選手
北村 大志 選手兼U15監督



昨年、滋賀県リーグ1部に昇格して2年目を迎える「河西FC」は、河西学区という地域にこだわった特殊な社会人チームです。もちろん、選手もスタッフも地域のボランティア。練習場所は河西小学校のグラウンドです。

河西FCの母体となっているのは、地域の少年サッカー「河西キッカーズ」。卒業した後もサッカーを楽しみ続けたOBが集まって、約25年前に社会人クラブ「河西FC」を作りました。

2年前には、今の環境の中で選択肢を増やすためにKAWANISHI FC U-15を立ち上げました。監督で河西FCのプレーヤーでもある北村 大志さんは「一緒にボールを蹴ることで、今習得すべき技術やマインドを伝え、次のステージでも楽しんでもらいたい」と、練習には河西FCのメンバーも参加して、基本の技術を学んだり一緒にゲームを楽しんだりしています。

河西FCの選手兼監督の川島 忠浩さんは、「地域ぐるみでサッカーを楽しんでいるので、地元の小中学生が帰って来られる場所であり、一緒にプレーしたいと思えるチームでありたい。そのためにも4強入りを目指して、チーム一丸となって頑張ります」と話していました。



全力で勝ちにいく その先に「J」の夢がある

関西1部リーグ
レイジェンド滋賀FC
山内 義博 代表



野洲川歴史公園サッカー場ビッグレイクと同じ平成17年に「滋賀FC」として産声を上げ、平成24年にクラブ名を公募して「レイジェンド滋賀FC」となりました。発足時から「滋賀にJを」の夢は変わりません。

私は周囲の反対を押し切る形で、企業サッカーチームからレイジェンドに came ました。普段の私は法人の運営から育成チームの子どもたちの面談や進路相談まで、忙しく動いています。

レイジェンド滋賀FCを一步でも「J」に近づけることと、滋賀からJ選手が何人も出てほしいという二つの願いのために奔走しています。

しかし、「J」も市民ファンも、勝たないと振りむいてもらえない。だからトップ選手も育成チームも、全力で勝ちを目指します。

近江サッカーの戦国浪漫 はい上がってきた「侍」

関西1部リーグ
守山侍2000
井上 卓哉 代表



守山南中学校サッカー部のOB仲間12人が「サッカーしようや」と、平成12年に立ち上げたチームです。好き寄りのサッカーチームで試合やリーグにもこだわっていませんでしたが、人数が増えて、守山の人間だけで県サッカーリーグ5部(現在は3部まで)の根っこからはい上がってきました。

近隣の強豪高から県外に出て行った選手が戻ってきてくれるチームになり、初期メンバーはトップチーム引退の年齢になり、それでもみんなが好きなサッカーを続けようと、シニアチームやセカンドチームができました。それを機に、関西リーグ昇格を目指し、スポンサー名を背負うチームになりました。

「好き」が集まって強くなり、戦国浪漫の近江を制覇できるチームになりたいと思っています。